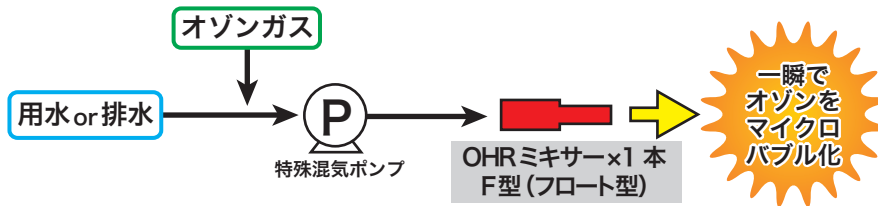


驚異のミキシング能力！ 抜群の納入実績！

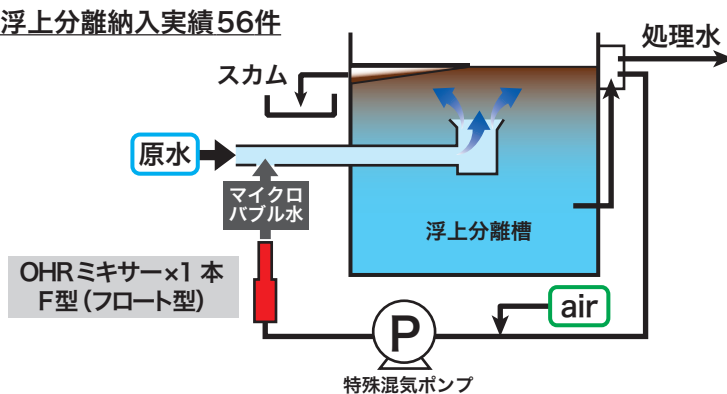
# 水処理設備を劇的に改善する OHR 反応器

## 1. 大量水をオゾン処理する（※5000m<sup>3</sup>/日 処理の実績あり）



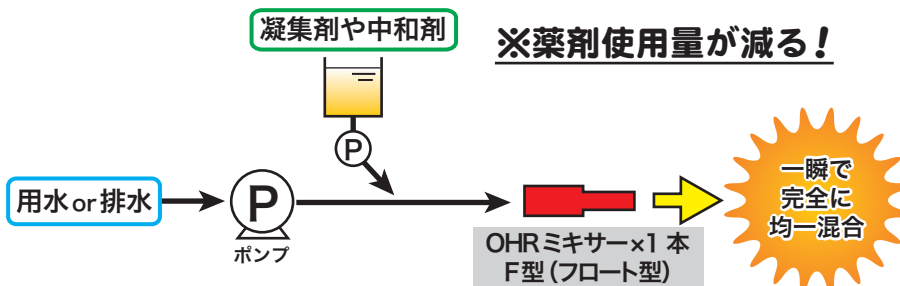
## 2. 加圧タンク無しで浮上分離（※1800ℓ/min の気泡水を 22 kW ポンプで）

※浮上分離納入実績56件



SUS製OHRミキサー  
(1本で最大900m<sup>3</sup>/hを処理！)

## 3. 凝集剤、中和剤を一瞬で完全均一混合（※多くの場合、反応タンクを無くせます）



## 4. 目詰り完全ゼロのOHR式散気管（※3300超の施設で稼働中）

石灰30%のスラリーでも、13年間目詰りなし！（1998年2月以来）  
汚泥濃度5～6万ppmの汚泥濃縮槽でも、間欠運転が平気！

排水処理を完璧に支えつづける…  
—OHR式だけの とくい技—

### 1) ずーっと変らないDO効率

※10年経っても新品時と同じ！  
DO効率はゴム式散気管と\*事実上同レベル！

### 2) ずーっと一定のプロワー電力

※10年経っても通気抵抗アップなし

### 3) ずーっとヘドロ堆積なし

※10年経っても嫌気ゾーンなし

※交換工事は槽内に水漲りしたまま行ないます。

### \*「事実上同レベル」の意味

下の①②のゴム式散気管の性能低下を割引くと、結局は OHRエアレーターとゴム式散気管の性能は、ほぼ同等か、あるいは過酷な条件下においてはむしろ、OHRエアレーターの方が優位となる。

#### ①α値（アルファ値）

清水での酸素溶解効率、実排水においてどれだけ低下するかの値のこと。半分に低下すればα値は0.5、1/4に低下すればα値は0.25である。OHRエアレーターのα値は1.0であり、清水と実排水とで変わらない。一方、ゴム式散気管は0.25～0.7ほどである。

#### ②目詰りと経年劣化

OHRエアレーターの場合、目詰りも経年劣化もないので、10年経っても新品時の性能と変わらない。ゴム式散気管は数年で交換が必要ほど目詰りし、DO効率は著しく低下する。



AE-130N 型

技術資料のお求めは

**OHR**  
ORIGINAL HYDRODYNAMIC REACTION TECHNOLOGY

株式会社 OHR 流体工学研究所  
OHR LABORATORY CORPORATION

Tel.04-2932-5466 Fax.04-2932-5605

e-mail: info@ohr-labo.com

http://www.ohr-labo.com